

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内致しますので、ご利用のほど宜しく願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- オリゴクロールバンド〔等電点電気泳動法〕 :項目コード 4529

受託開始日

平成30年1月4日(木)受託分より新規受託開始



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
4529	オリゴクローナルバンド 〔等電点電気泳動法〕	血清 1.0 mL 及び 髄液 1.0 mL 注1	G-2 及び X-2 冷蔵	等電点電気泳動法	検出せず	11~17日	543	※ *4

検査場所: エスアールエル(略号: *4)

注1 他の検査と重複しないよう、単独検体で提出して下さい。

※ 多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。

▼ 臨床的意義

オリゴクローナルバンドは髄液蛋白を電気泳動した際にその泳動像において、 γ 分画に2~数本のシャープなバンドとして観察され、ウイルスや細菌などの pathogen に対し、特異抗体活性を有するとされている免疫グロブリンである。脱髄性疾患(多発性硬化症, etc)や中枢神経系感染症(ウイルス性脳炎, 急性無菌性髄膜炎, 神経梅毒, 急性特発性多発神経炎, 視神経炎, 亜急性硬化性全脳炎, ギランバレー症候群, etc)などの補助的診断や予後の経過観察に有用である。なお、電気泳動で検出されたバンドが血液からの流入ではなく、中枢神経組織における IgG 産生亢進によることを確認するため、血清と髄液との泳動像の比較が行われます。

▼ 検査方法参考文献

佐々木 征治、他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版):61-74, 1999.